



いずみ野

令和4年1月7日

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

本年もどうぞよろしくお願い申しあげます 「好奇心」と「希望」

校長 齋藤 敦子

いずみ野の澄んだ空気の先の先には、神々しい富士山が一段と際立ち、新しい年を迎えました。この冬休み、皆様はいかがお過ごしになりましたか。

昨年、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動に多大なお力添えをいただきました。心より感謝申しあげます。本年も子どもたちの笑顔がたくさん見られ、自分らしさを発揮して、健やかに成長することを願わずにいられます。



11月宿泊体験学習：西湖から眺める富士山



寅年の一年：何事にも**好奇心**をもって前向きに進めば、華々しい成果が期待できる**希望**にあふれる年になるそうです。

令和3年度はコロナ禍において、様々な活動を初めから諦めるのではなく、できることを前提に工夫をしながら取り組んできました。令和4年も子どもたち一人ひとりが目標を達成するために**好奇心**と**希望**をもってスタートしてほしいと思います。

『学び隊』でご指導いただいている横山正美様から、今年度最後の活動で温かいメッセージを頂戴し、子どもたちや教職員は、次年度への**希望**をもつことができました。

私はいつも思うのですが、野菜を育てる時は、自分の子どもを育てる時と同じような気持ちで育てています。植物（野菜）は自分の環境に合った時は、順調に育っていきます。植物（野菜）は強い生命力を持っています。しかし、いつも同じような環境ではないです。自然はいつも変わります。その時、私たち人の手によって助けてあげれば、味も形もすばらしい野菜になります。

植物（野菜）は種を蒔いたり、こぼれ落ちたりすれば、発芽の条件がそろえば発芽し、葉が出、花が咲きます。そして、実ができ種がこぼれ、条件が整えばまた発芽します。植物はその繰り返しです。植物（野菜）はすごい生命力があります。植物（野菜）には命があります。私はいつもその様に思っています。その命を大切にしています。皆さんも植物（野菜）を育てる時は、その様な思いをもって育ててくれるととてもうれしいです。

4年生以上の皆さんはお米作りを体験しました。昔から米という字は八十八と読めることから、手間のかかる大変な仕事と言われています。機械化が進んだ現在も30以上の手間がかかると言われています。先日の収穫祭にも皆さんの気持ちが良く表れていて、とても感激しました。

お父さん、お母さん、そして先生方、地域の人達、皆さんを応援している全ての人達に感謝し、これからの活動で全力で協力し合って、取り組んでください。皆さんに期待しています。（一部抜粋）

学校が子どもたちにとって安心できる温かな居場所となるよう、そして、個々の違いやよさを丁寧に見つめ、一人ひとりを大切にした教育に教職員一同、令和4年に**希望**をもって取り組んでまいります。